2011年
7月号
No.057

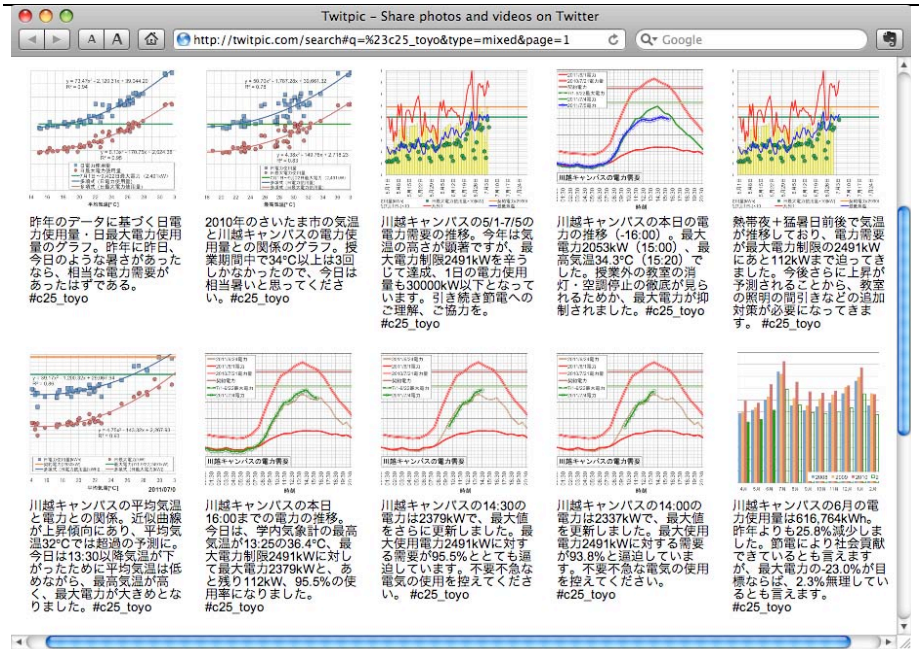
2011年7月6日発行

月刊 かわごえ環境ネット

目次

地域環境活動を聴く（35）加藤昇さん…………………………… 2
かわごえ環境ネットの活動報告（3題）……………………3-5
会員・地域・流域の環境活動（8題）……………………… 6-10
川越市からのおしらせ（2題）…………………………………10
理事会・専門委員会からの報告（5題）………………… 11-12
おしらせ・追悼・イベントカレンダー……………………… 12-16

節電の夏に「見える化」の実践



大学の電力需要と予測をグラフ化して Twitter に投稿（#c25_toyo）

私の務める東洋大学川越キャンパスは、契約電力 500kW を超える事業所として、7月1日から9月22日まで契約電力の-15%を使用電力の上限として定める制限を受けています。具体的には、2930kW の契約電力に対して、2491kW が使用電力の上限値となっており、これを故意に超えると1回（1時間）につき100万円以下の罰金が科せられる可能性があります。

本来、節電ひいては省エネルギーは、自主的取組で実施するのが望ましいと言えますが、これまで7年間実施してきた地球温暖化防止につながる省エネルギー活動は、その動機付けが十分でなく、効果があまり現れていませんでした。今回の節電は、東日本大震災の福島第一原子力発電所の事故を契機にするものですが、長期的にこれからのエネルギー問題、そして環境問題を考える重要な機会になっています。

大学では25%程度の節電が継続されていて、すでに猛暑続きの苦しい状況ではありますが、節電の「見える化」によって、節電を実施することの必要を訴えかけています。効果はまだわかりませんが、これまでの継続した取組が効果を発揮していると言えます。

かわごえ環境ネット　理事長　小瀬博之

加藤昇さん

個人会員訪問 地域環境活動を聴く（35）

加藤昇さんと会うのは初めて。埼玉県の植樹祭「みんなで森をつくる集い」が伊佐沼の農業ふれあいセンターで開催され、記念式典で川越緑のサポーターが、「森林保全活動報告」行い、ふれあいセンター前の広場で、森の体験ブースを開きました。川越緑のサポーターのブーステントに訪ねてこられたのがきっかけで、今回の訪問になりました。川越市議会開催中にお電話したため、取材の時間が取れず、議会終了後に北公民館でお会いできました。

お会いして名刺交換の後、最初にお聴きしたのは、市議会議員になって何年になったかでした。「5 期目の 17 年目になりました。」「阪神大震災の年に市議選に立候補しました。」名刺に、自転車乗りの姿がデザインされている。「今でも自転車で地域を回っています。」「平成 7 年の阪神大震災の時には、現地に行きボランティア活動をしていました。」「家屋の倒壊などは、一級建築士の資格を持っていたので、その目線で見ることができました。」「テレビで見るより現場に立つと 360 度の目線が得られて、思考も広がりました。」「現場に立つ、大切さを体験できました。」

地域での環境活動を熱く語ってくれました

環境活動は、どのようなことをなさっていますか。「議員として、視点を広げることが大切と、環境ネットに個人会員として、入会しました」「個人で入会することで、様々な方・民間団体・各企業の環境活動が見えてきます。」「地域の環境活動として、地域団体の経営懇話会での活動に加わっています。」「それと、三富ネットの会員にもなっていました。」「経営懇話会では、ホタル委員会があり、毎年、北公民館でホタル観賞の集いを開催しています。」「市民に夏の涼と自然環境を、感じてもらう企画にしています。」「水がテーマで、成虫となって飛び回り、光るホタルだけでなく、幼虫の姿、生息する水辺等を見られるようにしています。」「ホタルが住める環境が大切なのです。」「見て感じてもらうことが環境活動になります。」「当日は、親子連れで鑑賞に来る方が多く、展示されている幼虫に、初めて見た。こんなに小さいの・・・と驚きの声が聞こえます。」「昔の新河岸川には、沢山いたのですね。川がきれいになってホタルが住めたらいいですね。」

北公民館でのホタル幼虫展示

「ホタル観賞会は、水辺の自然環境を考える題材になっています。」「先日、環境ネットが東洋大学を会場として開催した、かわごえ環境フォーラムに参加。すみたい街かわごえカフェ～みんなで語ろう、環境・福祉・観光などのグループ討議は有意義でした。」「様々な市民が、グループ課題をもとに思いと意見を出し合ったのが聴けてたいへん良かった。」「アメニティ都市・川越を政策基本とした活動をしています。」「地球上には、様々な生命体がある。人間は、生き物のトップにいるが、人間だけの地球ではない。」「便利・効率、あれも・これもが、3 月 11 日の東北大震災以後、あれか、これか、になって来た。生活の豊かさに変化が出てきています。」「未来にも豊かさを創り、残すことが大切です。」「情報技術も進み、伝達が広く早くなり、世界情報が早く手元に届く時代。」「これからは、技術進化があっても 10 年以上は使える物づくりで、有限の資源を大切に使う生活、産業が望まれます。」「今年 56 歳になりました、時代に対応した考えと行動力で、環境活動を行って行きます。」

環境を主旨とした議員活動が聴けた訪問でした。

（2011 年 6 月取材　理事・広報委員：金子晃）

かわごえ環境ネットの活動報告

川の一斉水質調査を 11 名 27 か所で実施

採水の様子（小畔川鎌取橋）

本会では、NPO 法人荒川流域ネットワークが主催する調査に協力して、5 月 29 日（一部 6 月 5 日）に川の一斉水質調査を実施しました。当日は雨天で、一部のポイントで調査できませんでしたが、川越市内の 27 か所を 11 人で分担して調査しました。

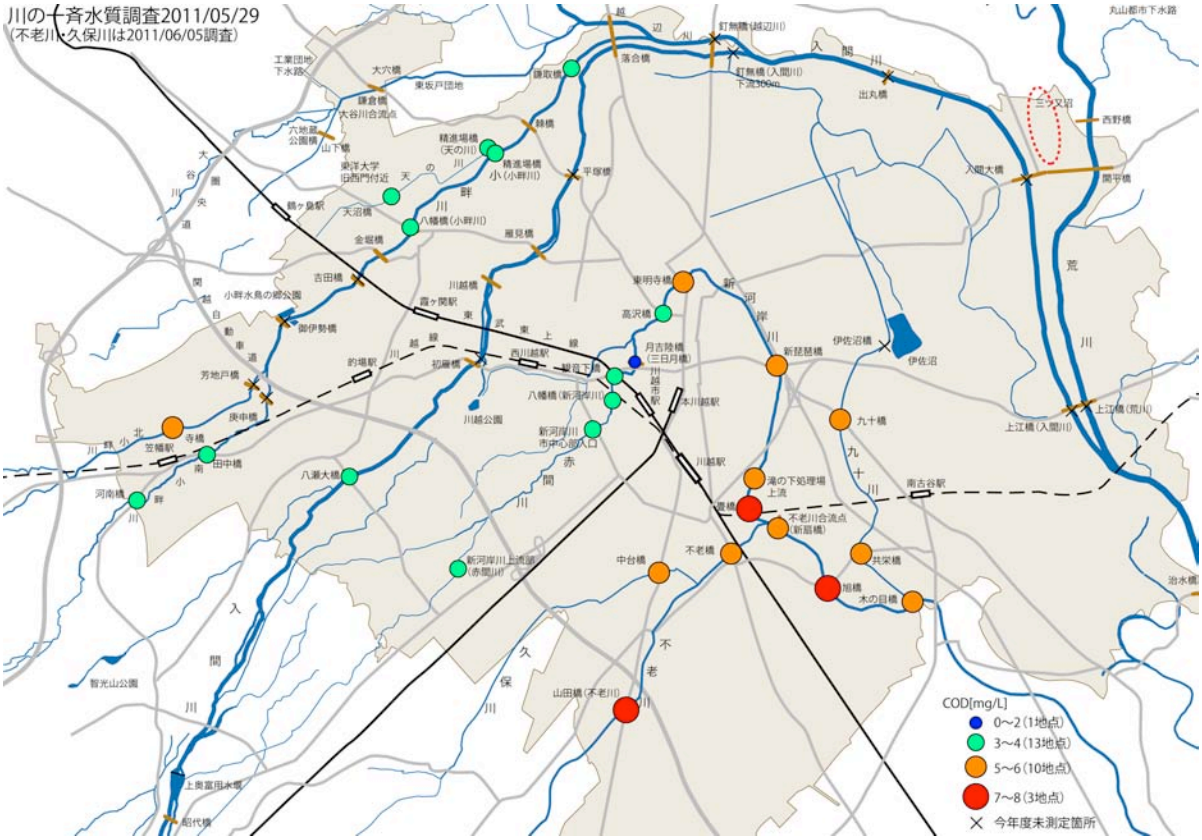
現場で川の水の採水を行うとともに気温と水温、水の色、においなどを調査し、採水後は、各自が容器に入れた水を持参して、北公民館で COD（化学的酸素要求量）と電気伝導度（EC）を調査しました。

本誌 2010 年 7 月号（No.045）の 6 ページに掲載されている報告と比較すると、雨のため全般的に COD が小さい傾向になりました。一方、新河岸川については、下流に行くほど COD が高くなる傾向も見られます。これは、上流が合流式下水道のため、未処理の下水が流出したためかもしれません。

簡易的な方法による水質調査であり、測定の環境も一定ではないので、長期的な傾向を把握するのは難しいのですが、私たちの調査した天の川では護岸工事が進められており、河川環境の大きな変化が数年で見られました。

定点として 40 か所のポイントがありますが、今回は 13 か所が未調査となりました。昨年に続き、入間川の水質がほとんど把握できませんでした。大きな河川のため調査が難しいですが、川越市東部における調査者がいないので、来年はぜひ参加したい、という方は小瀬までご連絡ください。

（小瀬博之）



調査地点と COD の結果（全国調査方法に基づく 3 回の測定平均を四捨五入）

魚類調査活動報告（鯨井・幡田堀湧水路）

自然環境部会

日時：2011 年 5 月 27 日（金）9:30-12:30
場所：鯨井、資源化センター付近の農業用水路（幡田堀湧水路）
参加者：5 名

早い梅雨入りで、今にも降り出しそうな空模様の下に、今年も昨年に引き続いて県民参加生き物モニタリング魚類調査を 5 名の参加者で実施いたしました。

調査当日は田植えの真最中で、流れに濁りが入り込んでいたことと、水路の一部に浚渫工事が行われ､調査環境としては最悪の事態でした。

（大辻晃夫）

調査活動風景（小畔川側より撮影）

魚種の判別中

群生するミクリ（絶滅危惧 IB 類）

クロメダカ（希少種）

カマツカ（希少種）

シマドジョウ（右端）（危急種）

ウキゴリ（希少種）

トウヨシノボリ

オイカワ

トウキョウダルマガエル

調査結果

魚種	個体数	備考
クロメダカ	オス 13、メス 21	希少種（R_2）
ドジョウ	30	
シマドジョウ	1	危急種（V）
ウキゴリ	2	希少種（R_2）
トウヨシノボリ	10	
カマツカ	2	希少種（R_2）
スジエビ	34	
オイカワ	1	

トウキョウダルマガエル	2	
ハグロトンボヤゴ	4	
マシジミ	1	

魚類調査活動報告（新河岸川・新城下橋下流）

自然環境部会

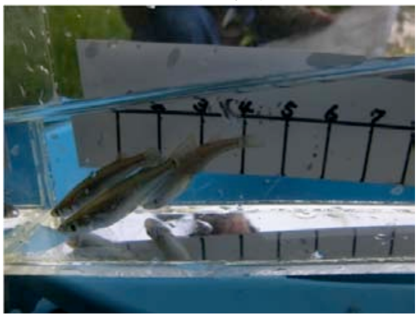
日時：2011 年 6 月 6 日（金）9:30-12:30
場所：新河岸川・新城下橋下流（初雁公園球場崖下付近の湧水地点）
参加者：5 名

朝から、前日の雨が嘘のような晴天になりましたが、山間部に降った大雨の影響で新河岸川は水嵩が増し、濁流となっていました。せっかくの湧水ポイントも形無しの河川環境下での魚類調査となりました。結果的に前回調査結果と比べて、タモロコ、カワムツ、オイカワ、などの成魚が全く確認できませんでした。しかし、モニタリング調査指定魚のクロメダカが数は少ないですが、中州の草陰で生息の確認がとれたことと、希少なモクズガニが新河岸川で確認されたことで、湧水の力を再認識いたしました。

崖下へのはしご設置作業中

濁流の中の魚類捕獲

濁流の水面に流れ落ちる湧水


クロメダカ（希少種）

アユ

モズクガニ（希少種）

調査結果

魚類	個体数	備考
クロメダカ	オス 2、メス 1	希少種（R_2）
アユ	1	
ギンブナ	3	
判別不明稚魚	多数	
テナガエビ	6	
ヌマエビ	4	
モズクガニ	1	希少種（R_2）
ハグロトンボヤゴ	7	

特記事項

この地点が、来年度の河川改修、浚渫工事が行われるのにあたって、川越県土整備事務所河川担当の 2 名の方が調査現場に見えられ、現状視察と意見交換が行われました。

整備事務所には、前もってこの地点が、県民参加生き物モニタリング調査の指定地であることと、豊富な湧水が流れ込むために希少な水生生物が多く生息しているので、工事にあたっては、事前に私どもと十分な協議の場を設けて欲しいと要望してあるためです。　（大辻晃夫）

会員・地域・流域の環境活動

社会環境部会例会に参加して

市役所7階での6月例会

環境ネットの会員になって2年目です。前々から社会環境部会例会に参加したいと考えておりましたが、毎月第2水曜日午後3時からの開催であり時間の調整が取れないこと、どの様な雰囲気の会合か分からなかったために、参加を躊躇しておりました。

4月の例会から、時間の調整が取れる第2金曜日の午後1時～3時に変更になったため思いきって参加してみました。

部会代表の原嶋さんの司会により、明るく会話のし易い雰囲気の中で、緑のカーテン普及運動とかエコドライブ等の議題が進められ、身近な場所で有意義な内容が話し合われ、実践活動に寄与されていることが分かりました。

6月の例会は16名が参加、今回から参加者全員が、1か月間何を活動してきたか、考えてきたかを各自手短に報告する場が設けられたことにより、それぞれの参加者間の一体化が図られ良い例会となりました。

折角参加しても自分の考えを発信する機会が得にくい雰囲気の解消になり、大変よかったと思いました。

まだ例会には3回しか参加しておりませんが、会員の皆様方が気軽に参加されたら、例会が一層実りある内容になるのではないかと感じました。（菊地三生）

「ごみゼロデー」雨中の奮闘

雨の中をごみ拾いする署員

所内で集めたごみの分別

川越警察署（渡部眞一郎署長）から、5月30日のごみゼロデーに、雨の中を大仙波のバイパス歩道のごみ拾いをしたと連絡がありました。一昨年来、クリーン&ハートフル川越の郊外クリーン活動に協力してくれています。今回も川越市の啓発ゼッケンをつけて実行しました。応援を求めた市民のほうが雨で休んでしまいましたが、予定通りやられた署員に感謝申し上げます。7月17日の郊外クリーンにも協力しますとの高瀬警務課長のお話でした。（武田侃蔵）

第 62 回、埼玉県植樹祭「みんなで森をつくる集い」が開催されました

森林保全再生活動について報告する筆者

6 月 4 日（日）川越市の伊佐沼農業ふれあいセンター多目的ホールで、来場者 1200 名が参加して開催されました。昭和 25 年より、埼玉県の主催で県内各市町のどこかで行われている緑化推進事業。今年度は、川越市も主催者に加わり上田埼玉県知事、川合川越市長出席のもと森林整備コンクール、森林フォトコンテスト、森林・林業表彰、本多静六賞等の表彰がありました。この中で、川越緑のサポーターが、森林保全再生活動を報告しました。県民提案事業で行っているコナラの育成、植樹活動を紹介。地域の福原中学生の社会体験事業でコナラの採取、培養畑での育成を行い、平地への植樹。福原地域の次の世代につなげる活動として、福原中学生 2 名も参加して報告しました。

報告は主旨説明とインタビューによる感想、会場の来場出席者に向けたクイズを行い、よい評価をいただきました。また、イベントテントにて、丸太切り、小枝鉛筆作り、緑のサポーター活動のパネル展示を行いました。川合川越市長もテントにおいでになり、「よい事業です。ぜひ続けてください。」と固い握手で激励をいただきました。この式典には埼玉県議会議員と川越市議会議員が 60 名ぐらい出席され植樹を行いました。植樹の後に市議会議員が 5 名、イベントテントに来て様々な激励と暖かい挨拶をいただきました。また、開催会場となった伊佐沼で、ハスの種から育成を行っている古谷小学校の 4 名の児童による体験発表も行われ、会場から多くの拍手をいただいていました。植樹は、伊佐沼農業ふれあいセンター前の芝生広場にヤマブキ、イロハモミジ等都市景観にあわせて 600 本が参加者、来場者により植樹されました。

（6 月取材　理事・広報委員　金子晃）

小学生の歓声に湧いた南小畔川

川べりで先生からの注意を聞いて

網を持って元気いっぱいの子ども

応援の会員から魚の名を聞く子ども

「水辺再生 100 プラン」で面目を一新した河南橋付近の南小畔川親水公園で、6 月 9 日午後、霞ヶ関西小学校の 5 年生らのにぎやかな声が響きました。今までは、北小畔川の「川べり散策」で川の環境について総合学習を行ってきましたが、川に入って安全に遊べる場所ができたので、ぜひ体験したいとの校長からの希望があり、かわごえ環境ネット会員の応援を得て実現しました。

これに先立って、5 月 27 日に学校で「川の環境」について 5 年生約 70 名の前で話をし、質問も受けました。川の流れ、瀬と淵、魚の生態、

川の汚れの原因、捨てられたごみが太平洋までも汚す実態などを話しましたが、子供らも真剣に聞いてくれました。このような講義と実体験を組み合わせた「川の学習」が広まることを期待し､会員のご協力をお願いします。(原嶋昇治)

「みどりの再生とことんトーク」

上田・堀尾トークに拍手

東日本大震災応援イベント「みどりの再生とことんトーク」の催しが、6 月 12 日（日）10 時から 15 時まで､さいたま新都心の自由通路とけやき広場を使って開かれました。

「間伐ボランティア」や「緑のカーテン」などの「みどりの活動事例発表」や苗木プレゼント、みどりと川の体験コーナーなどとともに、東北 4 県の物産展も用意され、多くの県民が参加しました。

メインのトークは､上田知事と堀尾正明さん。堀尾さんは浦高出身で子供の頃から見沼代用水などで遊んだ経験をもとに「みどりの再生」には大賛成、ガソリンに代わる藻の育成を提案されました。CO_2 削減につながり、県内各所にある遊水地や用水路を利用すればと前向きの意欲を示しました。コンコースを埋め尽くした県民の熱心な姿に､「みどり再生」への希望が湧きました。　(原嶋昇治)

「環境ネットワーク埼玉」の総会開催

かわごえ環境ネットも会員になっている、特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉の平成 23 年度総会が､6 月 18 日に大宮ソニックシティビルで開かれました。

基調講演は、4 月から埼玉県環境科学国際センターの総長に就任した坂本和彦さんの「環境問題と持続可能性　公害から環境へ、そして未来へ」でした。環境汚染は古いメソポタミア・インダス文明の頃から、様々な環境破壊があった事例をあげ、環境の南北問題などの現代の課題までふれて、示唆に富んだ話でした。終わりに「環境効率」の高いものを消費者、市民が育てる意識改革と実践の大切さを訴え、感銘を受けた基調講演でした。

続いて総会に移り､平成 22 年度事業報告と決算､県からの委託事業を盛り込んだ平成 23 年度事業計画と予算を承認しました。

(渡辺利衛)

◆「川越の自然」の増刷が決定

本会設立 10 周年記念事業として 5 月 21 日に刊行した「川越の自然」について多数の問い合わせをいただいておりましたが、このたび 6 月 28 日の理事会において、増刷が決定しました。

増刷ができ次第、1 冊 500 円で頒布いたします。頒布方法については、準備ができ次第本誌及び本会ホームページにてお知らせします。

第 1 回「水と緑と安心を!サイクリングで探訪」6 月 19 日にびん沼川などを

昨年度は、かわごえ環境ネット 10 周年を記念して「水と緑と伝統のまち川越 12 回探訪・ついでにクリーン」を行いました。109km^2 の面積をもつ川越市内をくまなく歩くことはとてもできませんでした。今年はサイクリングで、周辺地域も含めて広く回り、安全・安心の検証とともに、不法投棄などはないかにも目を光らせることにしました。

6 月 19 日（日）梅雨の中休みの薄曇のサイクリング日和でした。旭橋の左岸堤防から出発しましたが、目の下に不法投棄のごみの散乱が見られました。月内に収集することにしました。堤防の上は、ただの砂利道と、少し硬めに整備されて走りやすいところ、まったく手入れされていないでこぼこ道とばらつきがあり、サイクリングしやすい堤防道路への改修に取り組んで欲しいと痛感しました。

連光寺先の渋井で、新河岸川放水路に回り、びん沼川の方へ廻りました。ここから先は両岸に釣り人の姿が見られました。

富士見市の船渡橋からはびん沼川となり、ヘラブナ釣りの聖地のようで、荒川につながる南畑排水機場まで、両岸にびっしりの釣り人でした。日曜日とはいえ、群馬、茨城、多摩ナンバーの車も混じって大変なにぎわいでした。人が集まればごみが出る、マナーの悪い人もいるだろうと心配になりました。8 月 28 日には、新河岸川広域景観プロジェクト懇談会の「ゆめつるせ」などの呼びかけによる、「びん沼川クリーンイベント」が、川沿いの富士見市の公園で開かれます。参加団体が手分けして川岸の清掃をする予定です。

砂塚橋からさいたま市側に渡り堤防沿いに走りました。地元自治会で、赤い鳥居にポイ捨て防止のお願いの板をつけて、堤防脇に立てていました。鳥居の効用を期待して方々で採用されていますが、長続きはしないようです。捨てられたらすぐ拾う以外に決め手はないようです。

治水橋たもとで参加の大学生と別れ、川越市の菅沼びん沼公園に寄りました。家族連れが築山や芝生の上でくつろぐ姿が見られましたが、まだまだ市民に知られていないのが残念でした。

びん沼も、下流の方へは歩くのに苦労するような手つかずの自然の趣が、鉄柵の外から垣間見られました。足元に注意しながら一度中を歩いてみたいと思いました。

九十川の排水機場から堤防の上を南田島の方へ遡りました。周辺は住宅地となりましたが川岸は草が繁茂し、見た目にもきれいとは言えない川の流れに、単なる排水路になっているようです。周辺住民も「おらが川」の意識はまったく見られないようでした。川越を支えた赤間川と九十川の再生が待たれる 32km のサイクリングでした。　（武田侃蔵）

旭橋下の不法投棄

もう夏草が道をふさぐ

両岸にびっしりの釣り人

鳥居を立ててポイ捨て防止

庭園の趣がある菅沼びん沼公園

風情乏しい九十川

近隣市の環境行政　狭山市

さやま版の節電啓発コーナー

さやま環境市民ネットワークの展示

路上喫煙禁止の啓発コーナー

6 月は環境月間。狭山市では、6 月 13 日から 2 週間、市役所 1 階ホールで環境展を行いました。話題の節電関係では、啓発の展示ばかりでなく、NPO 法人さやま環境市民ネットワークの会員による相談コーナーも設けて市民啓発を図りました。
埼玉県では、「エコライフ DAY2011 夏のキャンペーン」とともに、「家庭の電気ダイエットコンクール」への積極的な県民参加をよびかけた「埼玉夏の節電行動 2011」運動を行っています。狭山市では、例年、県の作った用紙に狭山市独自の工夫を加えた「さやま版」を作成、自治会をとおして市民に広く参加を呼びかけています。今回も「チャレンジ節電さやま 2011 夏」とし、狭山市としての賞品も追加して市民の積極的な参加を呼びかけていました。

さらに、リサイクルコーナー、生ごみリサイクル、路上喫煙禁止、まち美化のアダプトプログラム参加呼びかけなどが展示され、NPO 法人さやま環境市民ネットワークの「緑の分科会・ごみ減量分科会・川の分科会・温暖化対策分科会」の活動も紹介されていました。（武田侃蔵）

川越市からのおしらせ

平成 23 年度夏季苗木配布

環境政策課

7 月 9 日（土）午前 10 時 20 分頃から、かほく運動公園（霞ヶ関北 6-30-1，旧霞ヶ関北小学校）において夏季苗木無料配布事業を実施します。この事業は、市民の緑化意識の向上と緑化の推進を図ることを目的として昭和 58 年より継続して行っており、これまでに配布した苗木は 6 万 9 千本以上となっています。

当日は、ヤマブキ・ウバメガシなど 150 本の苗木を無料で配布する予定です。先着 150 名に配布し、苗木が無くなり次第終了となります。

ワットチェッカーを貸し出します！

環境政策課

川越市役所では、この夏の節電に役立つ機器（ワットチェッカー）を無料（機器を郵送で返却される方は、郵送代がかかります）で貸し出します。こんな方におすすめです。「節電に協力したいけれど、どこから手を付けたらいいのかわからない」「この家電製品、いったいどのくらい電気を使っているのかしら」。

ワットチェッカーでは、今、ご家庭でご利用中の各家電製品がどのくらい電気を使っているかを測ることができます。たとえば、テレビや冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、電気ポット、洗濯機、掃除機などなど、コンセントと家電製品のプラグの間にワットチェッカーを挟むだけで、簡単に電力消費量を知ることができます。お申し込みは、電話でも電子申請でも受け付けます。

【ご注意】
1.対象は川越市内在住の方に限らせていただきます。
2.貸し出し期間は 1 週間とします。
3.数に限りがございます。お申し込み状況により、お待ちいただく場合がございます。

理事会・専門委員会からの報告

理事会

今年度第 4 回理事会を、6 月 28 日（火）9:00 −11:00 に川越市役所 7C 会議室において開催しました。出席 7 名、委任出席 3 名でした。

次年度の記念に向けて組織される、市制施行 90 周年記念事業実行委員会に会として応募することになりました。

「川越の自然」の増刷について検討し、1000 部の増刷が決定しました。速やかに増刷し、できるだけ早く頒布を行うようにします。

（理事長　小瀬博之）

社会環境部会

6 月の例会は、10 日（金）午後 1 時より市役所 7C 会議室にて出席者 15 名により活気ある会議を進めました。

県地球温暖化防止活動推進センターからの、節電を目的とした家庭の電気・ダイエットコンクールの応募のお願いとクールスポット 100 選の説明が米澤さんよりありました。記念冊子「川越の自然」から候補地を挙げ、近くの会員が応募することにしました。小中学校、公民館に設置した緑のカーテンについては、育成の協力や苗の無料配布について話し合いました。

霞ヶ関西小学校から依頼があり、子どもたちの川遊びの支援に会員 3 名が参加しました。川遊びをすることで、子どもたちが自然に親しむ心を養っていければと思います。

6 月 10 日号の川越広報に掲載された「ごみの減量化」について、その目標と効果について意見交換をしました。

まち美化活動では、かわごえ環境ネットの活動が核となって広がるようにしたいものです。また、会員がより多く参加できるイベントについて、次回打合せすることにしました。

次回、社会部会は、7 月 8 日（金）13 時より行います。　（社会環境部会代表　原嶋昇治）

自然環境部会

5 月 27 日（金）に郭町・新城下橋下流の新河岸川にて、県民参加生き物モニタリング調査による魚類調査が行われました。詳しくは、記事をご覧ください。

6 月 6 日（月）に鯨井・資源化センター東側の水田地帯を流れる通称、幡田堀湧水路にて、県民参加生き物モニタリング調査による魚類調査を行いました。詳しくは、記事をご覧ください。

6 月 11 日（金）に川越市役所 7C 会議室にて 6 月度の自然環境部会が 14 名の参加で開催されました。

最初は、モニタリング魚類調査活動の報告と今後のモニタリング植物調査活動の予定や、(仮称）川越市森林公園計画地で予定している観察会などの報告がありました。

次に、7 月 29 日に予定している市外の観察会について詳細説明と、バスの手配や広報・川越での応募手続きなどが進んだことが報告されました。

続いて、生物多様性の勉強会の計画について報告があり、10 月 1 日（土）川越市市民会館で、埼玉県の環境アドバイザーの方を講師として開催することになりました。対象者は、会員だけでなく一般の方の参加も市広報で募る予定です。

最後に、県民参加生き物モニタリング調査に関する覚書が埼玉県と、かわごえ環境ネットとの間で交換されたことが、覚書の回覧とともに報告されました。

（自然環境部会代表　大辻晃夫）

「川越の自然」編集委員会

6 月 16 日(木)10 時から生活クラブ生協の「くらぶルーム」において、委員会を行いました。牧野先生の記念出版講演会以降、たくさんの方からの問い合わせがありましたが、残りが今年予定されている観察会分しかありません。よって早めの増刷について検討しました。6 月の理事会での提案になりますが、限られた予算の中からより多くの方たちに利用していただくため部数の調整をして、増刷することになりました。決定しましたらお知らせします。

（委員長　横山三枝子）

かわごえアジェンダ 21 推進委員会

今年度第 1 回の委員会を、6 月 28 日（火）11:00−12:00 に川越市役所 7C 会議室において開催しました。出席 5 名でした。

前年度のチェックシート実施について確認をしました。313 名分の実施を確認し、次回委員会までに入力・集計を行うことにしました。

今年度のチェックシートは、前年度と同様に、東洋大学の授業履修者、2011 アースデイ・イン・川越 立門前（10 月 23 日）の会場、北公民館かんきょう祭りの会場（11 月 12 日）において行うとともに、9 月 24 日に行われる予定の社会環境部会の講演会においても実施することになりました。400 名程度の実施となります。

川越市が発行する「かわごえの環境（第 5 号）」の執筆内容と分担を確認しました。自然環境部会の活動については、次回委員会（7 月 26 日）に確認することになりました。

（理事長　小瀬博之）

おしらせ

かわごえ環境ネット主催行事一覧（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

★県民参加モニタリング調査（植物）

日時：7 月 7 日（木）9:00-12:00
場所：寺尾調節池周辺の新河岸川河川敷
集合： 9:00 寺尾調節池ポンプ建屋前
（埼玉県川越市寺尾 409-9 地先）
連絡：賀登（049-234-9366）

●社会環境部会（2011 年 7 月度）

日時：7 月 8 日（金）13:00-15:00
場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会（2011 年 7 月度）

日時：7 月 8 日（金）15:00-17:00
場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

両部会は、毎月第 2 金曜日の 13:00-15:00, 15:00-17:00 の連続開催です。次回は 8 月 12 日（会場は福田ビル 3 階会議室）です。会員であれば自由に出席できる話し合いです。ぜひご参加ください。

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業

日時：7 月 11 日（月）9:30-12:30
場所：川越南文化会館（ジョイフル）
（川越市今福 1295-2）
問い合わせ：賀登（049-234-9366）
クモキリソウ分布調査、ヤマユリ、ツリガネニンジンなどの保護活動。事前連絡は不要。毎月第 2 月曜日が定例活動日。8 月は休止します。

◆理事会（2011 年度第 5 回）

日時：7 月 26 日（火）9:00-10:30

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会（第 1 回）

日時：7 月 26 日（火）10:30-11:30

◆かわごえアジェンダ 21 推進委員会（2011 年度第 2 回）

日時：7 月 26 日（火）11:30-12:00
場所：上記 3 会議すべて福田ビル 3 階会議室

◆広報委員会（2011 年 8 月度）

日時：8 月 3 日（水）9:00-10:00

場所：川越市役所本庁舎 5 階フリースペース
（川越市元町 1-3-1）

★虫の観察会

日時：8 月 7 日（日）9:30-12:30
集合：川越南文化会館（ジョイフル）
（川越市今福 1295-2）
場所：「(仮称）川越市森林公園」計画地
対象：一般、定員：30 名
費用：100 円（保険代など）
申し込み：かわごえ環境ネット事務局（環境政策課環境推進担当）（Tel.049-224-5866）

昆虫の専門家と雑木林で虫を観察します

★キツネノカミソリ観察会

日時：8 月 13 日（土）9:30-12:30
集合：市民の森 8 号地入口 9:30
（川越市大袋 452-1）
場所：市民の森 8 号地、池辺公園
対象：一般、定員：30 名
費用：100 円（保険代など）
申し込み：8 月 2 日～5 日
かわごえ環境ネット事務局（環境政策課環境推進担当）（049-224-5866）

お盆の時期に咲くオレンジ色の花を群生地に訪ねます

会員・関係団体の主催行事

☞映画『里山の学校』ロードショー

◆7 月 30 日（土）より連日 10:00/14:45（8 月 13 日以降変更あり）

上映場所：渋谷アップリンク（Tel.03-6825-5503）
（東京都渋谷区宇田川町 37-18 トツネビル 1･2 階）
料金：一般 1500 円、学生 1300 円、シニア 1000 円

千葉県木更津市の里山で毎週土曜日に行われている自然体験教室を描いた映画『里山の学校』が 7 月 30 日から約 1 か月間ロードショーされる。そこでは今の学校教育とは全く異なる子育てが行われている。里山の自然に抱かれて、年齢の異なる子どもたちが一緒に過ごしながら、探究心いっぱい、やりたいことにとことん取り組む。冒険心や好奇心に促され、生き物と触れ合い、森の幸を味わい、助け合い、時には喧嘩をしながら、驚くべき成長を遂げていく。昭和 30 年代の東京の子どもたちを記録した映画『遊び場のない子どもたち』も同時上映。子育てにとって何が大切かを伝えたい。

（個人会員：原村政樹さんからの情報。会場、内容等詳しくは下記 URL をご覧ください。）

http://www.uplink.co.jp/

●みなみかぜ　いきいき田んぼの会

（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：みなみかぜ　後藤・田崎
（Tel.049-234-1200）
場所：みなみかぜ（川越市吉田 204-2）
ホームページ：http://blogs.dion.ne.jp/tanbo373/

※参加費はお問い合わせください。

※毎週火曜・金曜午前中に田んぼで作業をしています。

※生きもの調査チームを作ります。一緒に活動しませんか?　田んぼまわりの動植物に興味がある個人およびグループの募集をしています。

子ども向けの観察会も企画していきます。

◆7 月 9 日（土）10:00-11:00　例会

◆7 月 23 日（土）9:00-12:00 雨天翌日に順延

「田んぼをきれいに&生きもの調査」

◆8 月 6 日（土）15:00-19:00

「かかしづくり&夕涼み会」
かかしを作って田んぼ脇に立てます。

◆8 月 13 日（土）10:00-11:00　例会

●特定非営利活動法人
武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.049-224-9118）

☞森林公園かんさつ会

◆7 月 18 日（月、海の日）公園と共催

国営武蔵丘陵森林公園南口集合 9：45 ごろ、終了 15：00 ごろ。参加費無料、入園料 280 円（団体扱）、65 歳以上 200 円。昼食、観察用具、雨

具持参。雨天決行。
見所：国蝶のオオムラサキやカブトムシなど、樹液に集まる昆虫とヤマユリの花を観察します。講師は大塚豊さん（日本野鳥の会東京）

◆8 月 27 日（土）公園と共催

国営武蔵丘陵森林公園南口集合 16:00、終了 20:00 ごろ。参加費無料、入園料 280 円（団体扱）、65 歳以上 200 円。懐中電灯、雨具持参。雨天決行。
見所：今年も少し明るい時間からバッタやカマキリなどの昆虫類を観察します。暗くなりはじめた記念塔付近でクツワムシの鳴き声を楽しみます。事前申し込みは、国営武蔵丘陵森林公園管理センターTel.0493-57-2111 まで。

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵
（Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786）

☞「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第 1 火曜日・第 3 木曜日（13:30-15:00）
◆7 月 5 日（火）・21 日(木)
◆8 月 2 日（火）・18 日(木)
　川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

2. 第 2 日曜日（9:30-11:00）
◆7 月 10 日（日）・8 月 14 日（日）
　本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第 4 土曜日（13:30-15:00）
◆7 月 23 日（土）・8 月 27 日（土）
　川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

4.郊外クリーン活動
◆7 月 17 日（日）9:30-11:30
　①川越警察署 9:30 集合、やすらぎのさとまで
　②伊佐沼荒川右岸用排水組合前 9:30 集合、農業ふれあいセンターまで伊佐沼周回。どちらの班を希望か、7 月 15 日までに武田へ。

5.百万灯まつり、まちなかクリーン
◆7 月 30 日（土）・31 日（日）13:30-15:30
川越駅前アトレ横歩道橋下 13:30 集合、市役所まで。

6.「水と緑と安心を！サイクリングで探訪」
◆第 2 回　7 月 16 日（土）9:00-15:00 ごろ
　9:00 南文化会館入口集合。森林公園予定地からふじみ野市、狭山市などの、三富新田の雑木林やくぬぎ山と農地等を観察。行程は約 35 キロ前後。以後、8 月 20 日（土）は、赤間川用水から山王塚古墳や入間川笹井堰等を回遊。

7.「びん沼川環境まつり」土手清掃
◆8 月 28 日（日）8:00-16:00
　新河岸川広域景観プロジェクトに参加している川越市から和光市までの環境団体が協力して「びん沼川」の川岸清掃をした後、富士見市の「びん沼自然公園」で「環境まつり」と銘打ったイベントが開かれます。近隣農家の農産物直販の青空市や日本モデルロケット協会のロケット打ち上げ、交通安全体験車、自転車講習会、稲刈り体験、阿波踊りなど盛りだくさんの企画が用意されています。
　川越市では、新河岸川放水路からびん沼川合流点までの土手清掃（8 時開始）を担当します。15 人位の参加を募集しています。クリーン&ハートフル川越の武田までご連絡ください。

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

☞おいしく・楽しく農業体験

福原ファームクラブ活動予定表
（活動日は第 2 土曜日、8 月は第 3 土曜日）

月	日	活動内容（先の内容はこれまでの例）
7	9・16	16:00 からの作業　トウモロコシ・枝豆の収穫・バーベキュー
8	20	16:00 からの作業　里芋畑の草抜き
9	11	ブロッコリー、キャベツの収穫
10	9	大根畑の片付け・ビニールはがし
11	12・19	里芋の収穫・芋煮会
12	11	大根の収穫・ビニールはがし
1	14・21	雑木林の手入れ・落ち葉掃き・豚汁
2	11・18	雑木林手入れ
3	10・17	雑木林手入れ　焼き芋・スープ・あそぼうパン

◆7 月 9 日（土）・16 日（土）16:00 からの作業
トウモロコシ・枝豆の収穫・バーベキュー
◆8 月 20 日（土）16:00 からの作業
里芋畑の草抜き
集合：明見院（川越市今福 677）

クラブ会費：1 家族 1,000 円（保険代・備品代等)、クラブ員でない参加者は 1 人 100 円（保険代）とします。

●東洋大学

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose＊toyo.jp（＊は半角@に変換ください）

詳細 http://team-6.eng.toyo.ac.jp/practice5-2011/

☞総合情報プラクティス V「川鶴地域活性化プロジェクト」成果報告会

◆7 月 22 日（金）13:30-16:00

場所：かわつる商店街（川越市川鶴 2-11-1）内

◆7 月 23 日（土）15:00-18:00

場所：鶴ヶ島南町連合夏祭り会場（鶴ヶ島市南町 2-1-10 地先）

◆7 月 30 日（土）（開催調整中）

場所：鶴ヶ島市かわつるグリーンタウン（松ヶ丘夏祭り会場内）を予定

いずれも参加無料、出入自由

東洋大学総合情報学部 3 年生が総合情報プラクティス V で取り組んだ「川鶴地域活性化プロジェクト」の成果報告について、パネル展示とともに、会場に学生が常駐し質問、意見に対応します。秋学期も取組が進められますので、意見を聞きながら今後に生かしていきたいと考えています。ぜひご来場ください。

●(財)埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）

☞伊佐沼探鳥会

時間：10:00 集合-12:00（小雨決行）

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口近くの蓮見橋

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡

参加費：300 円、高校生以下 100 円（保険料・資料代として）

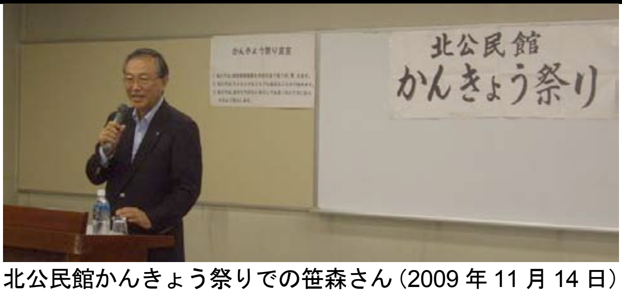
◆7 月 10 日（日）

雛を連れたカルガモは何家族見られるでしょうか？カイツブリは雄、雌交代で餌の小魚を捕りに出かけ、帰るときは嘴に餌をくわえ、巣で待つ雛に与えます。コアジサシも巣立ったばかりの若鳥と飛んできて、沼に飛び込んで魚捕りを教えます。今月も鳥たちは子育ての最中です。蓮もだいぶ大きくなり、末には花が見られます。

◆ 8 月 14 日（日）

サギが大きな群をつくって渡る季節になりました。シラサギの仲間、コサギ、チュウサギ、ダイサギのほか、アマサギの群が見られます。

追悼



北公民館かんきょう祭りでの笹森さん（2009 年 11 月 14 日）

■笹森清さん、6 月 4 日死去、72 歳。元連合会長で新聞、テレビで大きく報道されましたが、昨年から本会会員になっておられました。一昨年の「北公民館かんきょう祭り」で、「エコキャップ運動」について講演し、今後は川越の環境問題に貢献したいと話しておられました。市政にも強い関心を持たれて「市民からの逆マニフェスト」を提案されました。謹んでご冥福をお祈りします。

■米澤忠弘さん、6 月 11 日死去。67 歳。「第 9 回環境まちづくりフォーラム・埼玉」実行委員長として、昨年 3 月の川越市での大会を成功させました。また、昨年の本会総会の議長を務めました。彩の国環境大学修了生の会の会長を 5 月まで務め、今後はかわごえ環境ネットに積極的に参加しますと言っておりました。去る 6 月 10 日、かわごえ環境ネットの社会環境部会に参加して県の「夏の節電対策コンソーシアム」の説明をした翌日、高尾山の森林ボランティア活動の最中に脳卒中で急死されました。謹んでご冥福をお祈りします。

イベントカレンダー（7 月 6 日～8 月 20 日）

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他　詳細は個別の記事をご覧ください。			7/6 ◆9:00 広報委員会	7/7 ★9:00 県民参加モニタリング調査（植物）	7/8 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	7/9 ◎10:00 例会（みなみかぜ） ◎10:20 夏季苗木配布 ◎16:00 おいしく楽しく農業体験
7/10 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼探鳥会	7/11 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査 ◎16:30 川越キャンパスエコツアー	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16 ◎9:00 水と緑と安心を！サイクリングで探訪 ◎16:00 おいしく楽しく農業体験
7/17 ◎9:30 郊外クリーン活動	7/18 海の日 ◎9:45 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	7/19	7/20	7/21 ◎13:30 まち美化啓発運動	7/22 ◎13:30 川鶴地域活性化プロジェクト成果報告会	7/23 ◎9:00 田んぼをきれいに&生きもの調査 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎15:00 川鶴地域活性化プロジェクト成果報告会
7/24	7/25	7/26 ◆9:00 理事会 ◆10:30 フォーラム実行委員会 ◆11:30 かわごえアジェンダ21 推進委員会	7/27	7/28	7/29 ★9:00 ムサシトミヨ観察会	7/30 ◎10:00,14:45 映画「里山の学校」ロードショー（～約1か月間） ◎13:30 百万灯まつり、まちなかクリーン ◎15:00 川鶴地域活性化プロジェクト成果報告会
7/31 ◎13:30 百万灯まつり、まちなかクリーン	8/1	8/2 ◎13:30 まち美化啓発運動	8/3 ◆9:00 広報委員会	8/4	8/5	8/6 ◎15:00 かかしづくり&夕涼み会
8/7 ★9:30 虫の観察会	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	8/13 ★9:30 キツネノカミソリ観察会 ◎10:00 例会（みなみかぜ）
8/14 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼探鳥会	8/15	8/16	8/17	8/18 ◎13:30 まち美化啓発運動	8/19	8/20 ◎9:00 水と緑と安心を！サイクリングで探訪 ◎16:00 おいしく楽しく農業体験

月刊 かわごえ環境ネット 2011 年 7 月号 No.057

発行日　2011 年 7 月 6 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/